

2018年度  
中間決算の概況と  
通期の業績予想

2018年10月31日



# 目次

---

2018年度中間決算のポイント	.....	2
連結損益計算書	.....	3
連結売上高と利益推移	.....	4
連結貸借対照表	.....	5
連結キャッシュフロー	.....	6
連結セグメント別業績(中間期)	.....	7
連結セグメント別業績推移	.....	8
連結業績予想	.....	9

# 2018年度中間決算のポイント

- 回復基調を維持する世界経済の影響などにより、当社の事業環境は総じて堅調に推移。鋼材価格の上昇、北米における鋼材取扱及び自動車向けアルミ・銅製品の取扱増加などにより、売上高・当期純利益が前年同期比増加した。

・売上高	4,622億円	(前年同期比	+6億円、	0.1%増)
・経常利益	39億円	(	//	△2億円、5.0%減)
・当期純利益	29億円	(	//	+0.8億円、2.8%増)

- 自己資本比率は18.4%(前年度末実績 17.9%)

- 配当

中間 55円/株、期末 55円/株予定  
(前年度実績 中間 45円/株、期末65円/株)

# 連結損益計算書

(単位:億円)

	17年上期	18年上期	増減額	増減率
売上高 (7/31 公表値)	4,616	4,622 (4,620)	① 6	0.1%
売上総利益	149	150	1	
販売管理費	△113	△115	② △2	
営業利益 (7/31 公表値)	36	36 (37)	△0	△1.6%
営業外損益	5	3	③ △2	
経常利益 (7/31 公表値)	41	39 (41)	△2	△5.0%
特別損益	0	2	2	
法人税等	△12	△11	1	
当期純利益 (7/31 公表値)	29	29 (30)	1	2.8%
1株当たり当期純利益	322.41 円	331.42 円		

## ①売上高

単体	△ 127
・鉄鋼	△ 11
・鉄鋼原料	△ 129
・非鉄金属	△ 3
・機械・情報	+ 12
・溶材	+ 4
海外子会社	+ 164
(米州+48, 中国+53, アジア+61, 他+2)	
国内子会社	△ 15
連結調整	△ 16
計	+ 6

## ②販売管理費

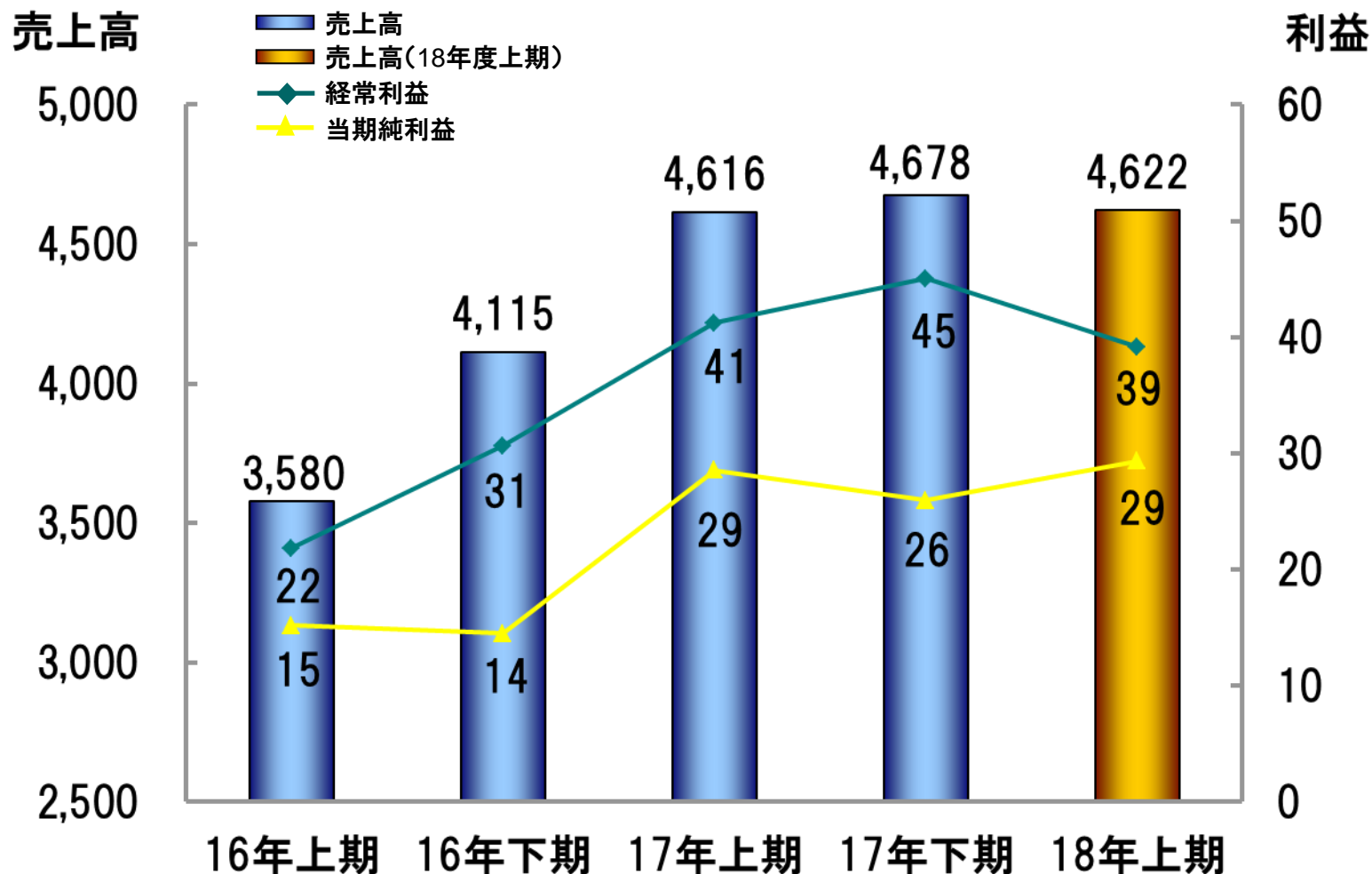
単体の経費減	+1
連結子会社の経費増	△3

## ③営業外損益

支払利息の増	△1 他
--------	------

# 連結売上高と利益推移

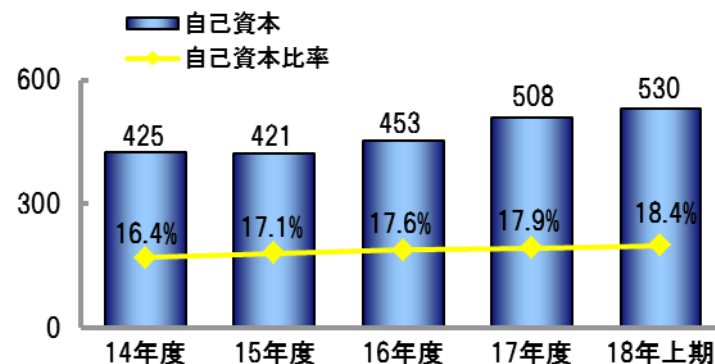
(単位:億円)



# 連結貸借対照表

(単位:億円)

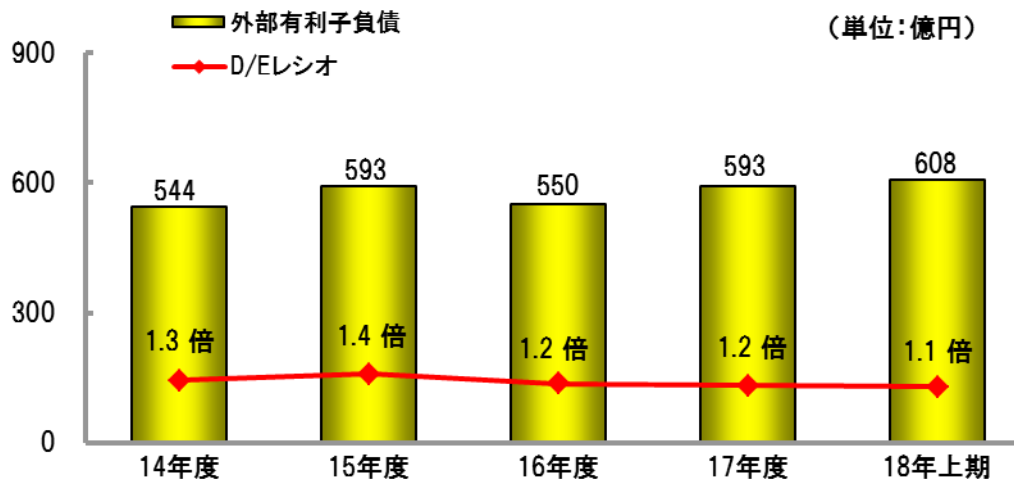
	17年度	18年上期	増減額	増減の概要
流動資産	2,393	2,435	42	棚卸資産 +52 他
固定資産	444	452	8	
（有形・無形固定資産	96	92	△4	
投資その他の資産	348	360	12	投資有価証券 +8、長期貸付金 +2 他
資産合計	2,837	2,887	50	
流動負債	2,053	2,097	44	短期借入金 +25 他
固定負債	246	237	△9	長期借入金 △10 他
負債合計	2,299	2,334	35	
自己資本	508	530	22	利益剰余金 +24、評価・換算差額等 △2 他
非支配株主持分	29	23	△6	
純資産	537	553	16	
外部有利子負債	593	608	15	
自己資本比率	17.9%	18.4%	0.5%	
D/Eレシオ	1.2倍	1.1倍	△0.1倍	



# 連結キャッシュフロー

(単位:億円)

	17年上期	18年上期	増減額
営業活動によるCF	△31	△40	△9
投資活動によるCF	△1	△8	△7
フリーキャッシュフロー	△33	△48	△15
財務活動によるCF	+29	+10	△19
総合キャッシュフロー	△3	△38	△35



# 連結セグメント別業績(中間期)

(単位:億円)

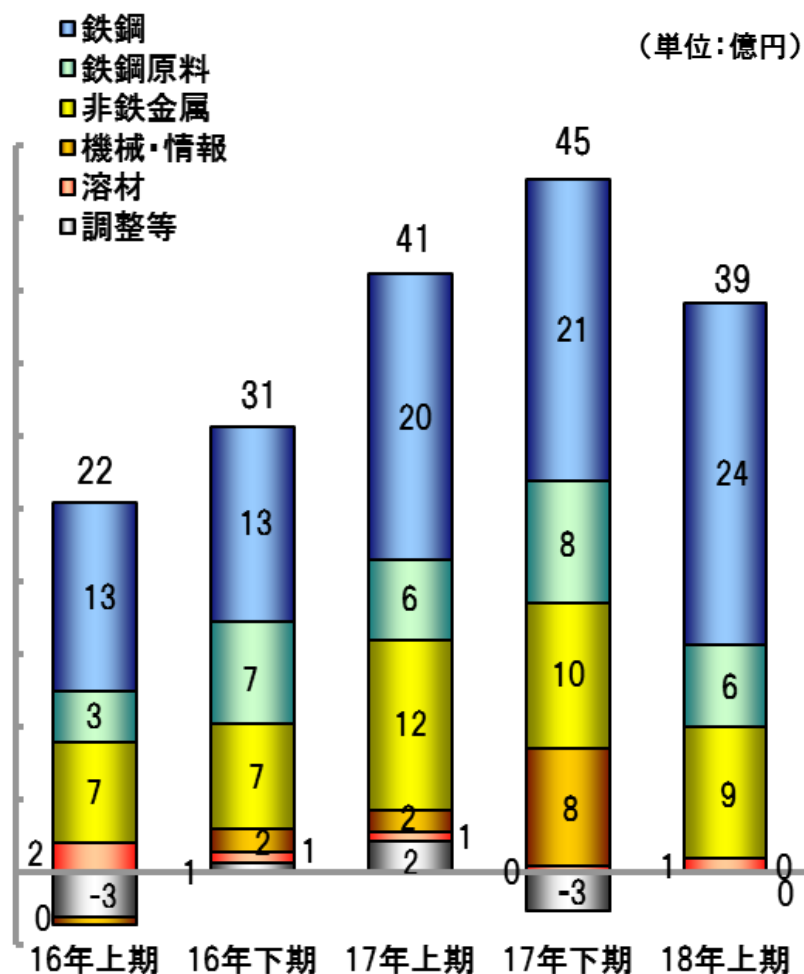
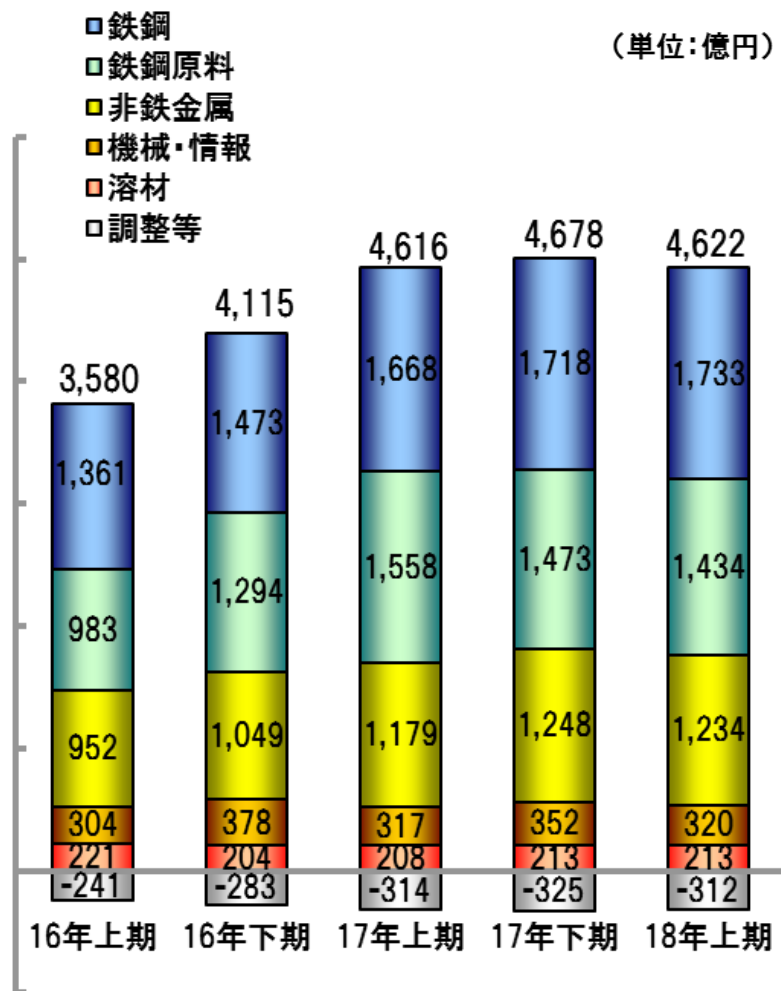
		17年 上期	18年 上期	増減額	増減率	売上高の状況
鉄鋼	売上高	1,668	1,733	65	3.9%	<ul style="list-style-type: none"> <li>●鋼板：国内向け・輸出向けともに取扱量は減少したが、価格は市況の影響を受け上昇した</li> <li>●線材：国内向けの取扱量は横ばい。輸出向けは取扱量横ばいながらも、価格上昇</li> </ul>
	セグメント利益	20	24	4	19.7%	
鉄鋼原料	売上高	1,558	1,434	△124	△8.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>●神戸製鋼所向け輸入鉄鋼原料：価格堅調も取扱量が減少</li> <li>●冷鉄源・合金鉄：価格上昇したが取扱量は横ばい</li> <li>●チタン原料：取扱量横ばい</li> </ul>
	セグメント利益	6	6	△0	△0.1%	
非鉄金属	売上高	1,179	1,234	55	4.7%	<ul style="list-style-type: none"> <li>●銅製品：空調用銅管及び自動車向け端子材用銅板の取扱堅調</li> <li>●アルミ製品：自動車向けアルミ板条及び押出材の取扱量増加したが液晶製造装置向け取扱は減少</li> <li>●非鉄原料：アルミ再生塊取扱量増加、銅屑・アルミ屑の取扱量減少</li> </ul>
	セグメント利益	12	9	△3	△21.7%	
機械・情報	売上高	317	320	3	0.9%	<ul style="list-style-type: none"> <li>●機械製品：大型圧縮機、タイヤ機械、熱処理炉、建設機械部品の取扱いが増加</li> <li>●情報産業関連：ハードディスク関連装置等の取扱いは増加したが、液晶電子材料等の取扱量は減少</li> </ul>
	セグメント利益	2	△0	△2	—	
溶材	売上高	208	213	5	2.2%	<ul style="list-style-type: none"> <li>●溶接材料：建築・建設機械向け及び輸出の取扱量増加</li> <li>●溶接関連機器：鉄骨ロボットシステムの取扱は堅調に推移。</li> <li>●生産材料：溶剤原料の取扱量増加</li> </ul>
	セグメント利益	1	1	0	43.0%	
調整等	売上高	△314	△312	2	0.8%	
	セグメント利益	2	0	△2	△95.3%	
連結	売上高	4,616	4,622	6	0.1%	
	経常利益	41	39	△2	△5.0%	



# 連結セグメント別業績推移

## 売上高

## 経常(セグメント)利益



# 連結業績予想

(単位:億円)	17年度	(※) 18年度予想	増減額	増減率
売上高	9,295	9,450	155	1.7 %
営業利益	81	75	△6	△7.6 %
経常利益	86	80	△6	△7.2 %
当期純利益	54	55	1	0.9 %
1株当たり当期純利益	615.44 円	621.12 円		
1株当たり配当金	中間45円、期末65円	中間55円、期末55円		
配当性向	17.9 %	17.7 %		

※ 18年度予想は7/31公表値

## ◆セグメント別

(単位:億円)	17年度		18年度予想		増減額	
	売上高	経常利益 (セグメント利益)	売上高	経常利益 (セグメント利益)	売上高	経常利益 (セグメント利益)
鉄鋼	3,386	40.5	3,620	41.0	234	0.5
鉄鋼原料	3,031	13.9	2,670	10.0	△361	△3.9
非鉄金属	2,427	21.8	2,670	19.0	243	△2.8
機械・情報	669	9.7	730	11.5	61	1.8
溶材	421	0.9	450	3.5	29	2.6
連結	9,295	86.2	9,450	80.0	155	△6.2

※ 調整額等の数値は表記しておりません。

# ご清聴ありがとうございました



ビジネス、  
順調ですか？

神鋼商事は、メーカー産社という独自の視点から  
あなたのビジネスに価値を付加するためのデザインを行います。

**KOBELCO**  
神戸製鋼グループ

**神鋼商事**  
SHINSHO CORPORATION  
<http://www.shinsho.co.jp>

(注)2018年度の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、  
実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。